

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る
市民アンケート調査業務

平成 27年 7月 27日現在

調査：宮古市企画部 復興推進課
協力：株式会社ケー・シー・エス三陸事務所

**宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る
市民アンケート調査報告書(速報)**

- 目次 -

1. 業務概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査概要	1
2. 調査集計及び集計結果の分析	2
1) 調査結果(単純集計)	2
3. 資料編	18
1) 市民アンケート調査票	18

1. 業務概要

1) 調査目的

調査は、宮古市中心市街地拠点施設整備事業を実施する上で基礎資料とするため、事業の認知度や関心度、市民意向などを把握することを目的として実施するものである。

2) 調査概要

実施期間	平成27年6月23日（火）～7月8日（水）
調査方法	調査票は、郵送にて対象者へ配布 回収は、郵送での提出
調査対象	18歳以上の市民から3,000名を無作為に抽出
回収数（率）	1,080人（36.0%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・回答者の属性・市役所の利用目的・市役所の利用頻度、滞在時間・整備計画の認知度、認知方法、関心度・本庁舎までの交通手段・宮古駅南側に新施設が整備された場合の交通手段・グループや団体などでの地域活動への参加状況・市民交流センターの利用意向、利用を希望する諸室（機能）・市民交流センターの利便性向上のための配慮事項・市民交流センターの利用内容（形態）・中心市街地への外出目的と頻度・中心市街地の現状認識・中心市街地への外出促進策（仕掛け）・現市庁舎（本庁舎、分庁舎）の跡地活用の期待度・その他（意見、提案）

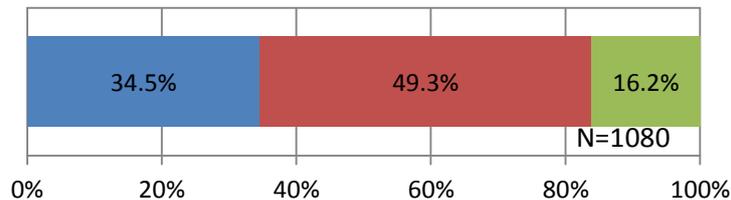
2. 調査集計及び集計結果の分析

1) 調査結果（単純集計）

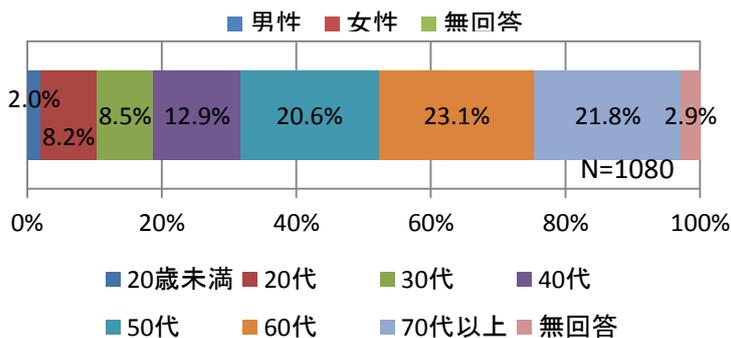
①属性

- 「性別」は、「女性」49.3%、「男性」34.5%で、女性の方が多い。
- 「年齢」は、「60代」が23.1%で最も多く、70代と50代が続いた。
- 「住まい」は、[全配布数に対する割合・全回収数に対する割合]が、「宮古・崎山・津軽石・重茂・花輪地区」が[78.2%・76.6%]、田老地区[7.6%・6.3%]、新里地区[7.3%・7.5%]、川井地区[6.9%・6.0%]であり、回収割合が新里地区、川井地区の順に高かったといえる。
- 「職業」は、「無職」が25.7%で最も多く、「会社員」が21.3%が続いた。60代以上が44.9%を占めたことから「無職」が多くなったと考えられる。

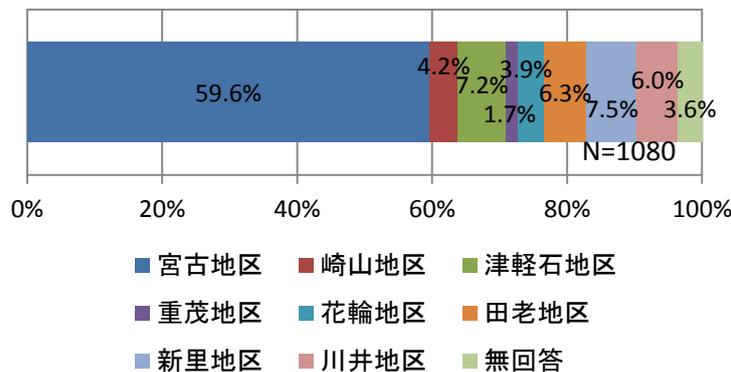
■性別



■年齢



■住まい



■職業

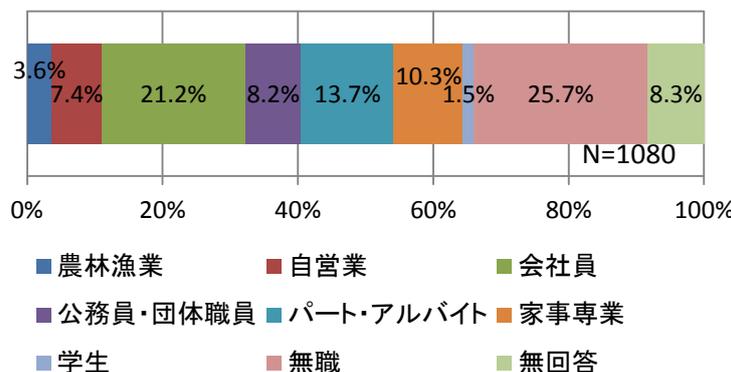


図1 属性

②市役所の利用目的

- 「証明（戸籍、住民票、印鑑登録など）」が 81.8%で最も多く、次いで、「税金」が 23.8%、「健康保険、年金」が 16.3%となった。
- 「その他」としては、「仕事の関係で行く」「会議への出席」「ほとんど利用しない」などが挙げられた。

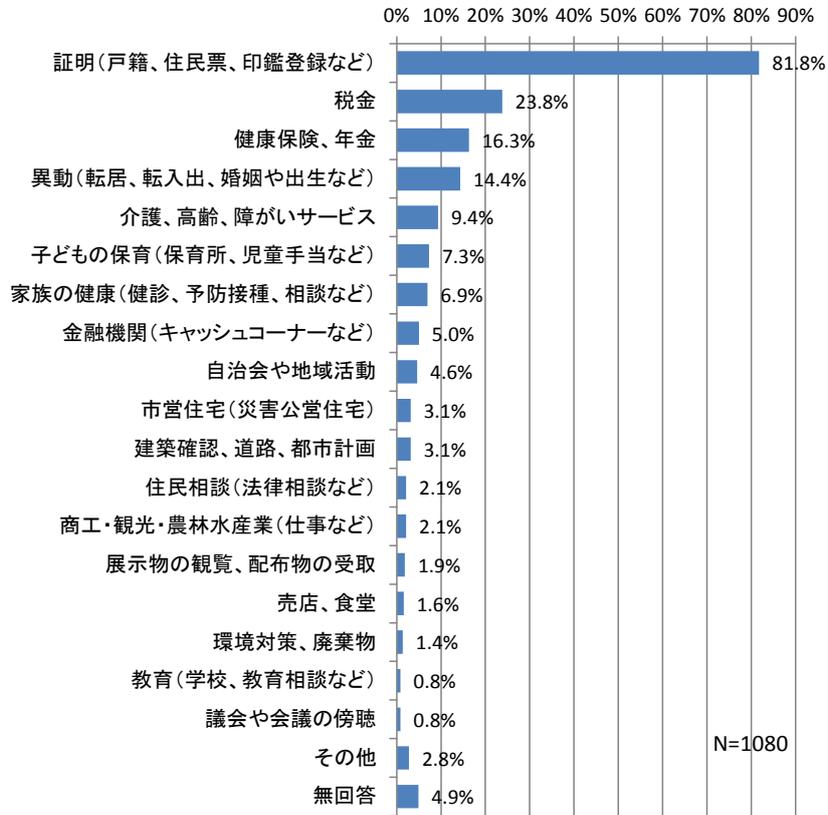


図2 利用目的

③市役所への来訪頻度

- 「年に数回程度」が 47.8%で最も多く、次いで、「年1回程度」が 15.3%となった。

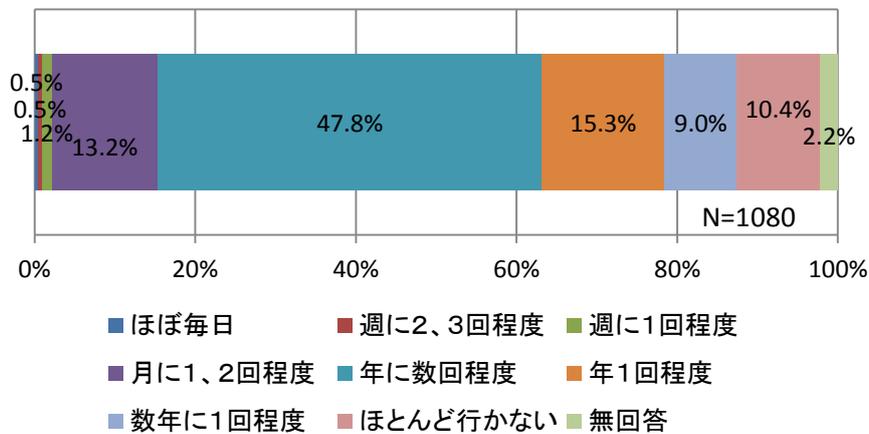


図3 来訪頻度

④市役所での滞在時間

○「15～30分」が44.6%で最も多く、次いで、「15分未満」が37.6%であった。

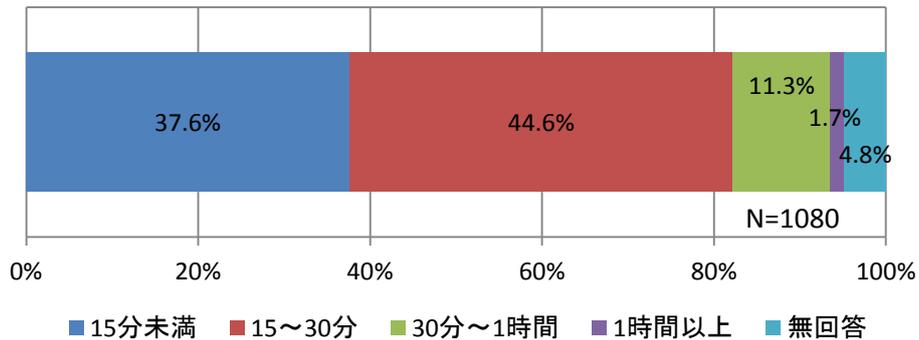


図4 市役所での滞在時間

⑤整備計画の認知度

○整備計画について、「知っている」と回答した人は75.9%であった。そのうち、整備内容まで知っているとは9.9%であった。

○年齢別でみると20歳未満の約7割が「今回のアンケートの資料で知った」と回答しているほかは、すべての年代で6割以上が知っているとは回答している。年代が高くなるにつれて、認知度は高くなっている。

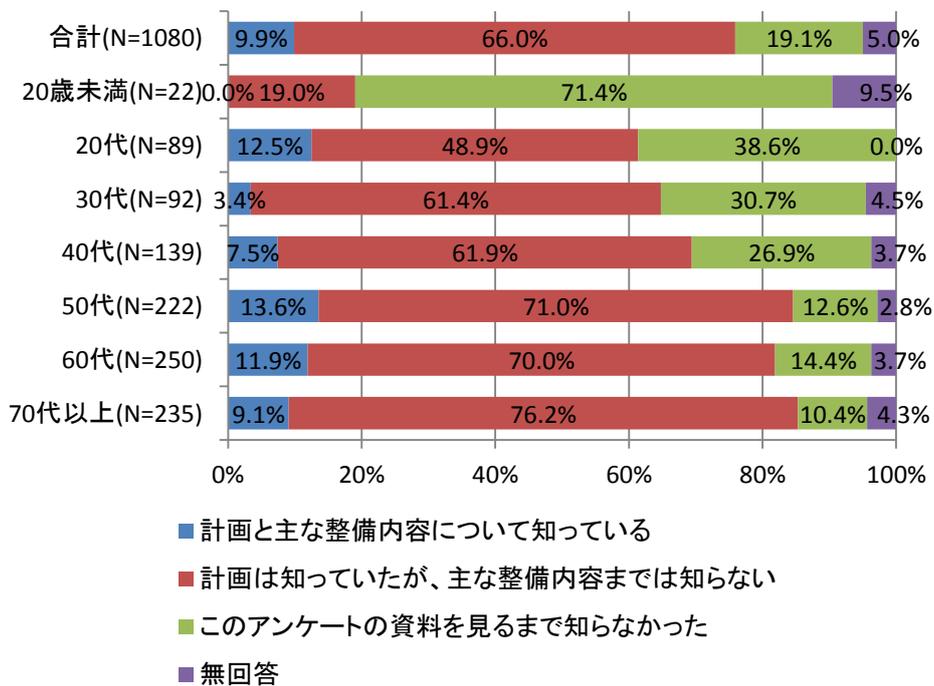


図5 整備計画の認知度

⑥整備計画を知った方法

- 整備計画を知った情報源としては、「市の広報」が40.9%で最も多く、次いで、人づてに「クチコミ」で知った人が34.2%であった。
 - 「市民説明会、出前説明会」が1.6%で最も低く、直接のやりとり（対面）より、広報等での間接的なやりとりの方で知ったという傾向が強いといえる。
 - 「その他」としては、「テレビで知った」や「このアンケートで知った」などが挙げられた。
- （複数回答）

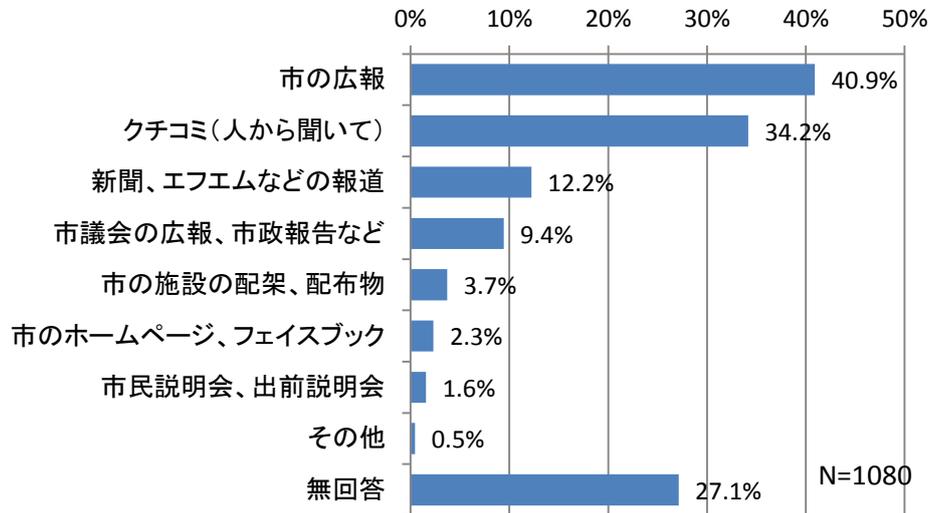


図6 整備計画を知った方法

⑦整備計画への関心度

- 「とても関心がある」「関心がある」は合わせて39.9%となり、「あまり関心がない」「関心がない」は合わせて16.8%だった。
- 「どちらともいえない」や「わからない」「無回答」は4割超（43.3%）であった。

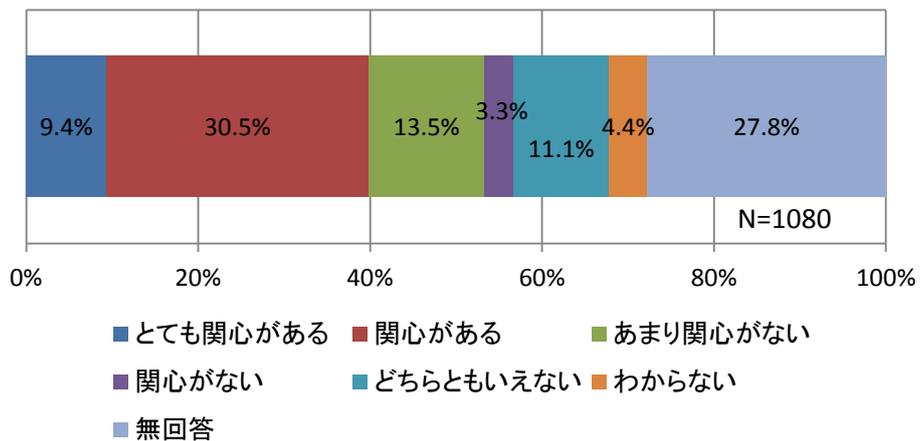
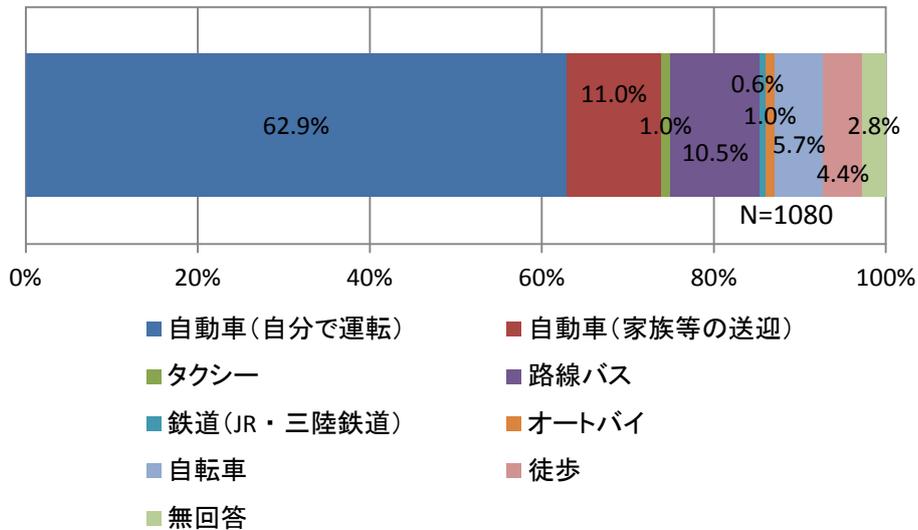


図7 整備計画への関心度

⑧交通手段

- 現在の本庁舎までの交通手段は、「自動車(自分で運転)」が 62.9%で最も多く、「自動車(家族等の送迎)」(11.0%)を含めると、7割以上(73.9%)が自動車を使用している。
- 宮古駅南側に新施設が整備された場合も、「自動車(自分で運転)」が 59.8%で最も多く、「自動車(家族等の送迎)」(8.1%)を含めると、6割以上(67.9%)が自動車を使用すると答えている。
- 「公共交通(鉄道・バス・タクシー)」の割合は、現在の交通手段としている人が 12.1%、新たに宮古駅南側に施設が整備された場合は、14.9%となっている。

■現在の本庁舎までの交通手段



■宮古駅南側に新施設が整備された場合の交通手段

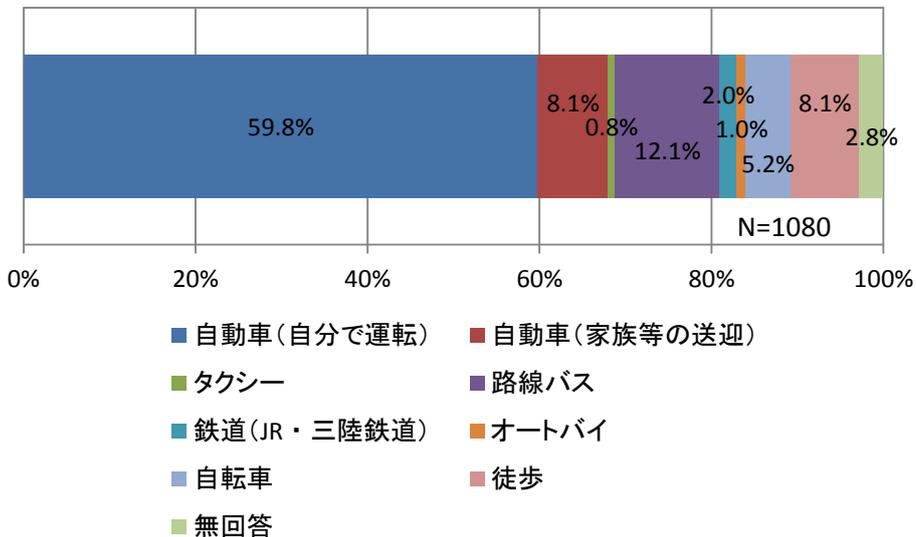


図8 交通手段

⑨グループや団体などでの地域活動への参加状況

- 日頃、地域のグループ・クラブ・サークルや各種団体・自治会・町内会などの活動に参加していると回答した人の割合は22.1%だった。
- 主な参加活動は、「自治会・町内会活動」が52.1%で最も多く、「運動系のサークル・趣味の活動」が21.1%で続いた。

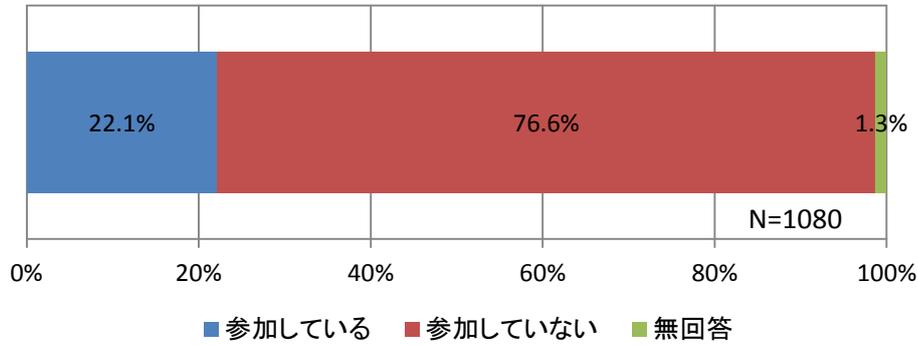


図9-1 グループや団体などでの地域活動への参加状況

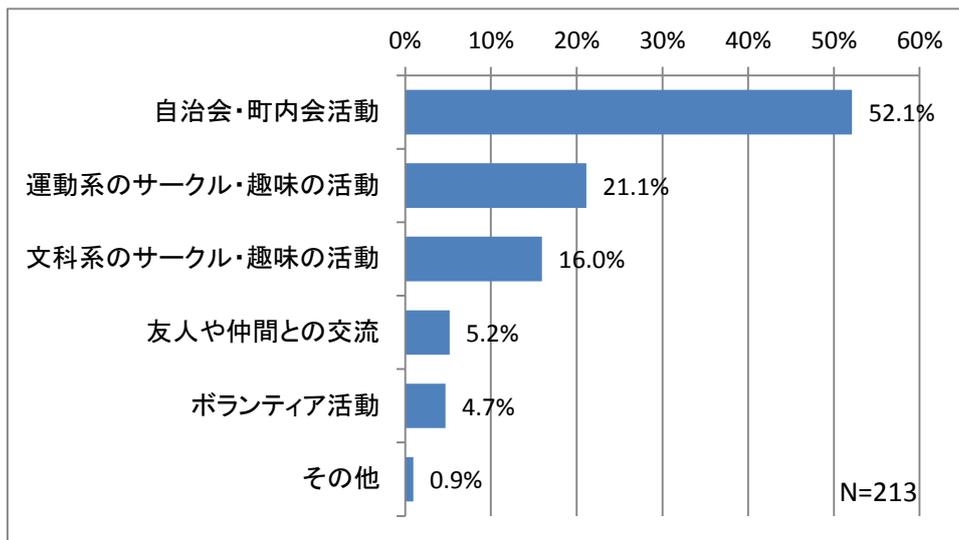


図9-2 参加している活動の内容

⑩市民交流センターの利用意向

○「利用したい」(16.6%)、「どちらかというと、利用してみたい」(29.8%)を合わせると、「利用したいと考えている人」は46.4%であった。
また、「どちらかというと、利用しないと思う」(24.9%)、「利用しない」(9.5%)を合わせると、「利用しないと考えている人」は34.4%となり、「利用したいと考えている人」の方が多かった。

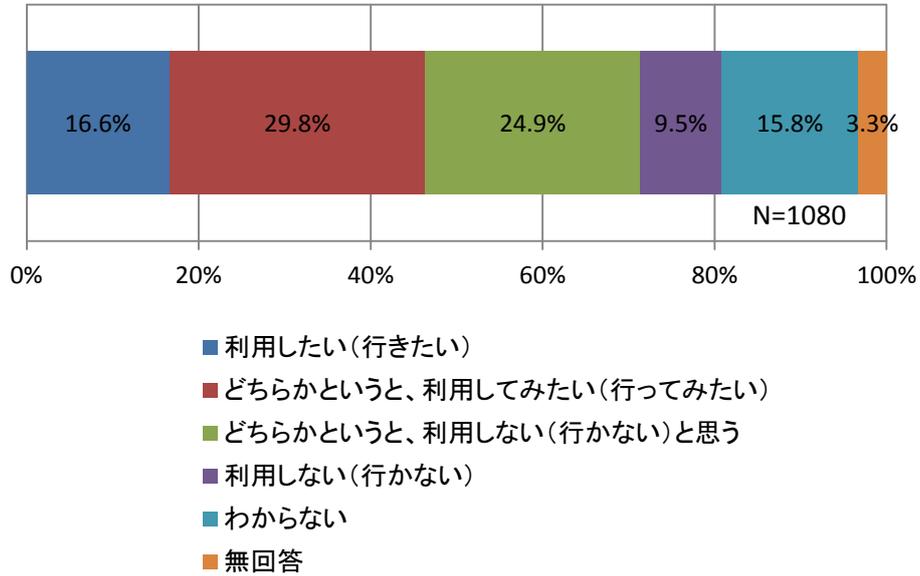


図10 市民交流センターの利用意向

⑪市民交流センターで利用したい諸室

○軽飲食や小会合などに利用できる「ふれあいカフェ」が 32.9%で最も多く、次いでダンスや健康運動などに利用できる「軽運動スタジオ」が 25.3%、発表会、講演会、総会などに利用できる「多目的ホール」が 20.8%、休憩や交流活動などに利用できる「オープンスペース」(18.5%)の順が続いている。

(複数回答)

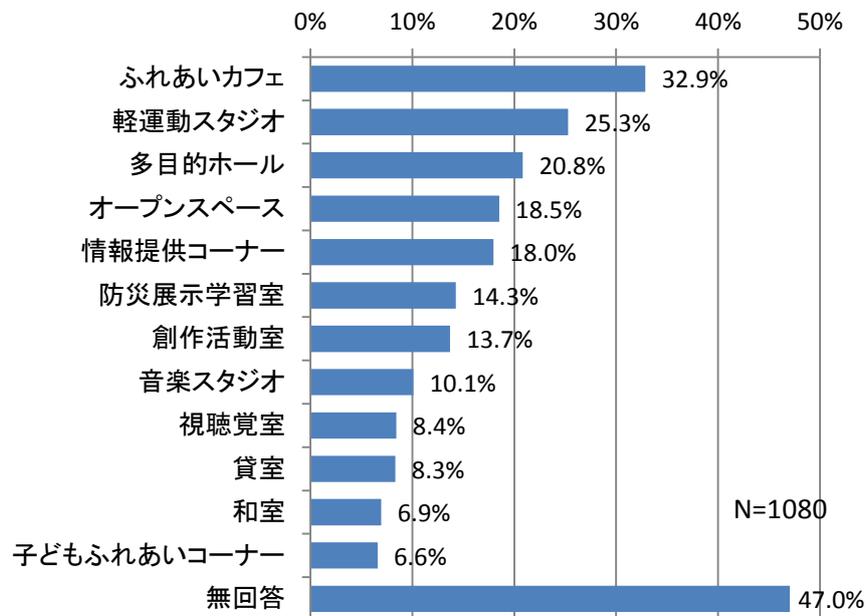


図 1 1 市民交流センターで利用したい諸室

⑫市民交流センターに追加したい機能や諸室

- 「トレーニングジムやスポーツができる部屋」が 17.9%で最も多く、次いで「売店、食堂、産直」が 12.8%となった。
 - 「図書室」(5.1%)や「学習室」(4.3%)など 1 人でも利用できる場所を望む声もあった。
 - 絵画などの「展示コーナー」(6.0%)、「音楽スタジオ」(4.3%)など、既出の機能も挙げられていた。
 - 「その他」としては、「機器やCDの貸し出し」や「展望台」、「ATM」などが挙げられた。
- (自由回答)

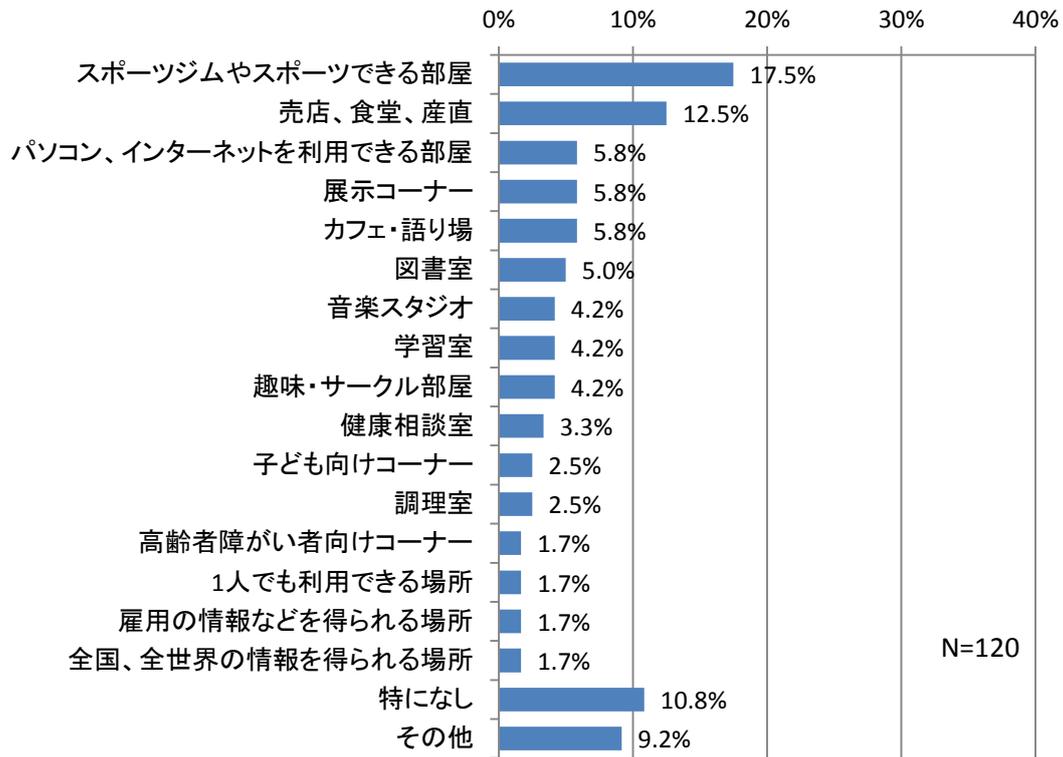


図 1 2 市民交流センターに追加したい機能や諸室

⑬市民交流センターの利便性向上のための配慮事項

- 「親しみやすく、気軽に立ち寄ることができること」が 44.9%で最も多く、次いで「利用料金が安いこと」が 38.4%、「土曜日や日曜日、祝祭日、夜間でも利用できること」が 32.9%であった。
- 「その他」としては、「駐車場の整備」や「現地までの交通の整備」などが挙げられた。
- (複数回答)

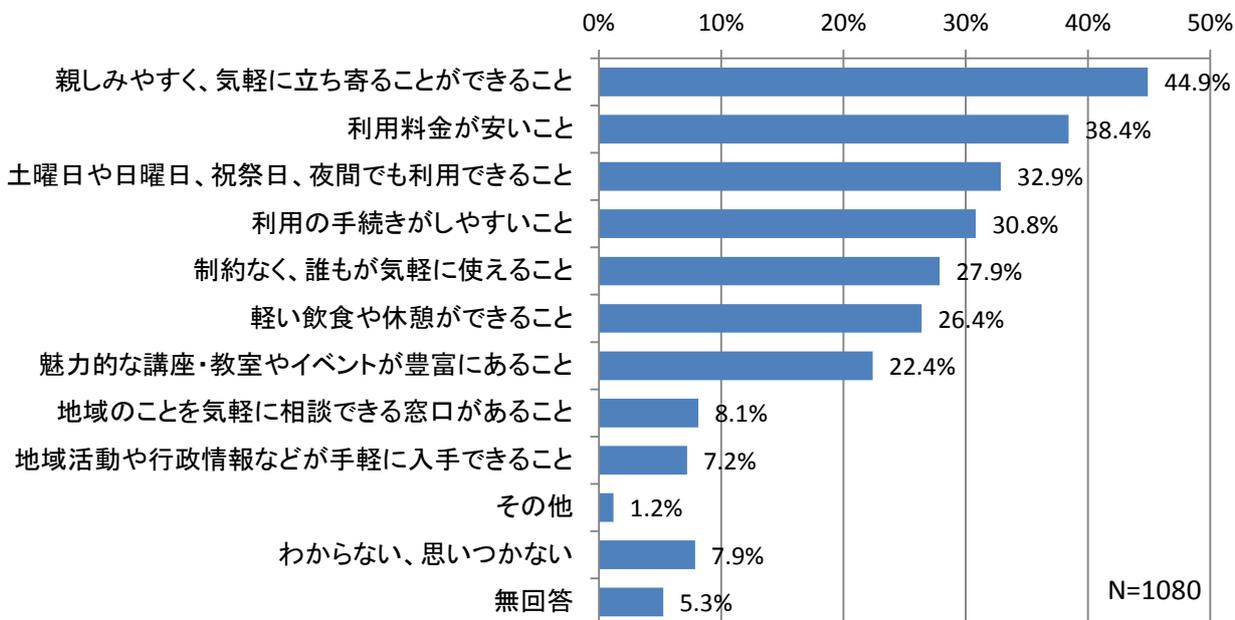


図 1 3 市民交流センターの利便性向上のための配慮事項

⑭市民交流センターでの利用内容（形態）

- 「趣味や教養に関する教室や講座に参加」が28.7%で最も多く、次いで「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」が27.1%となった。
 - 団体の活動や地域の人との交流を目的としている人がそれぞれで20%前後みられる。
 - 「その他」としては、「トレーニングジムでの運動」、「休憩スペース」などが挙げられた。
- （複数回答）

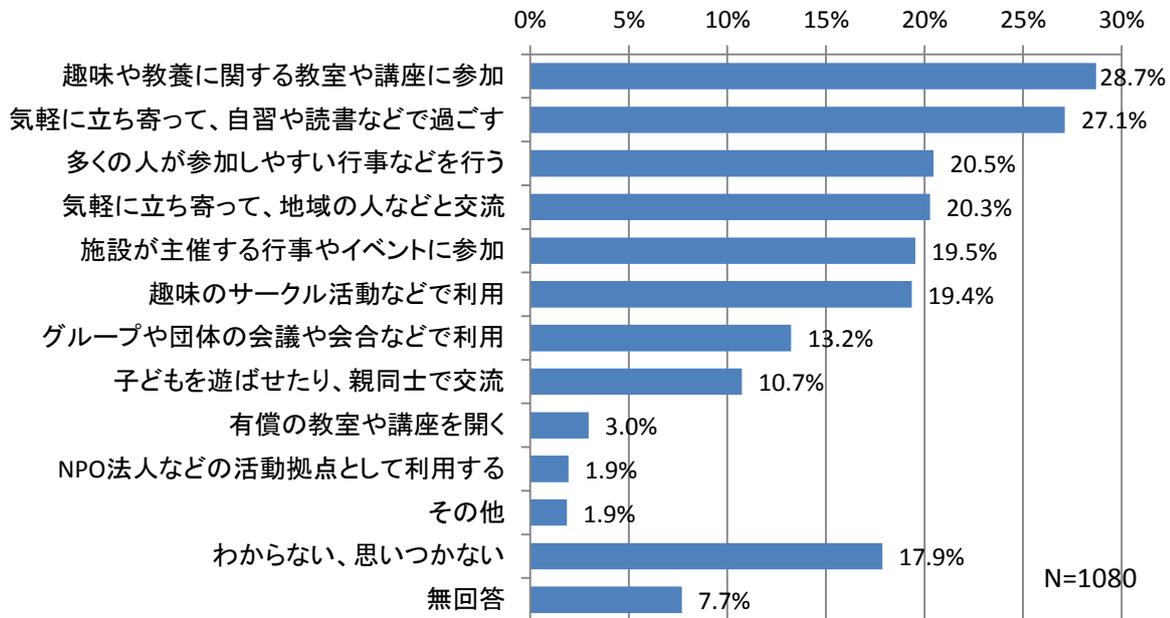


図14 市民交流センターでの利用内容（形態）

⑮ 中心市街地へ出かける目的

- 「最寄品の買い物」が 64.8%で最も多く、次いで「飲食のため」が 35.2%、「通院のため」が 30.7%であった。
- 「友人・知人に会いに行くため」(10.6%)から「ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため」(7.5%)までは回答に大差はない。
- 「その他」としては、「銀行に行くため」、「美容院に通う」、「子どもと散歩」などが挙げられた。

(複数回答)

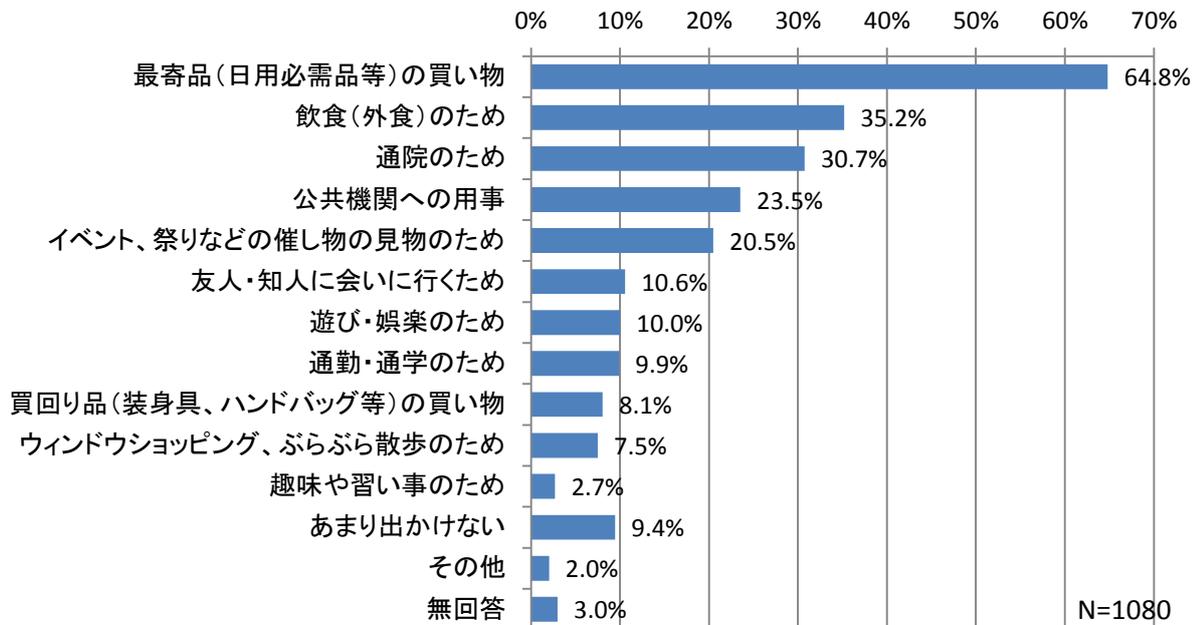


図 1 5 中心市街地へ出かける目的

⑯ 中心市街地を訪れる頻度

- 「週に 1~2 回」が 41.2%と最も多く、次いで「月に 1~2 回」が 24.4%となった。「ほぼ毎日」と回答した人は 18.3%となり、回答者の 83.9%が月に 1 回以上中心市街地を訪れていることがわかる。

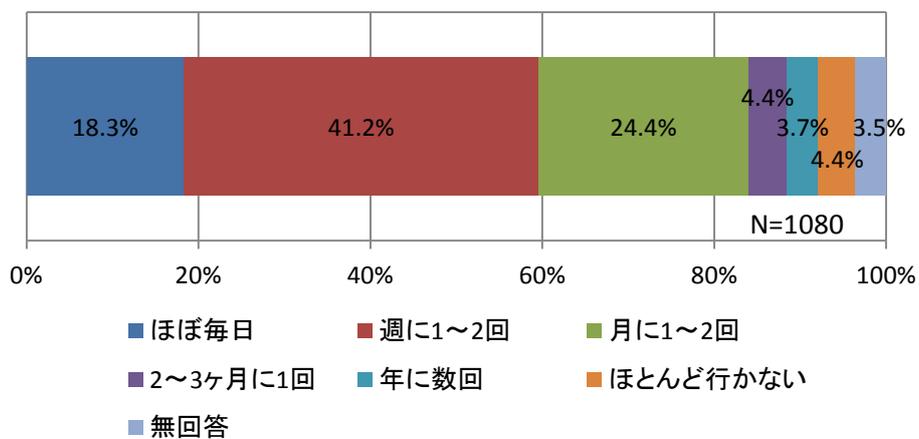


図 1 6 中心市街地を訪れる頻度

⑰現在の中心市街地について感じる事

○「最寄品の買い物がしやすい」については「そう感じる」(7.2%)と「まあまあ感じる」(29.7%)を合わせて36.9%、「あまり感じない」(17.1%)と「そう感じない」(14.5%)の合計31.6%を上回っている。

○ほとんどの設問について、「あまり感じない」「そう感じない」を合わせた割合が、4割から5割超になっている。

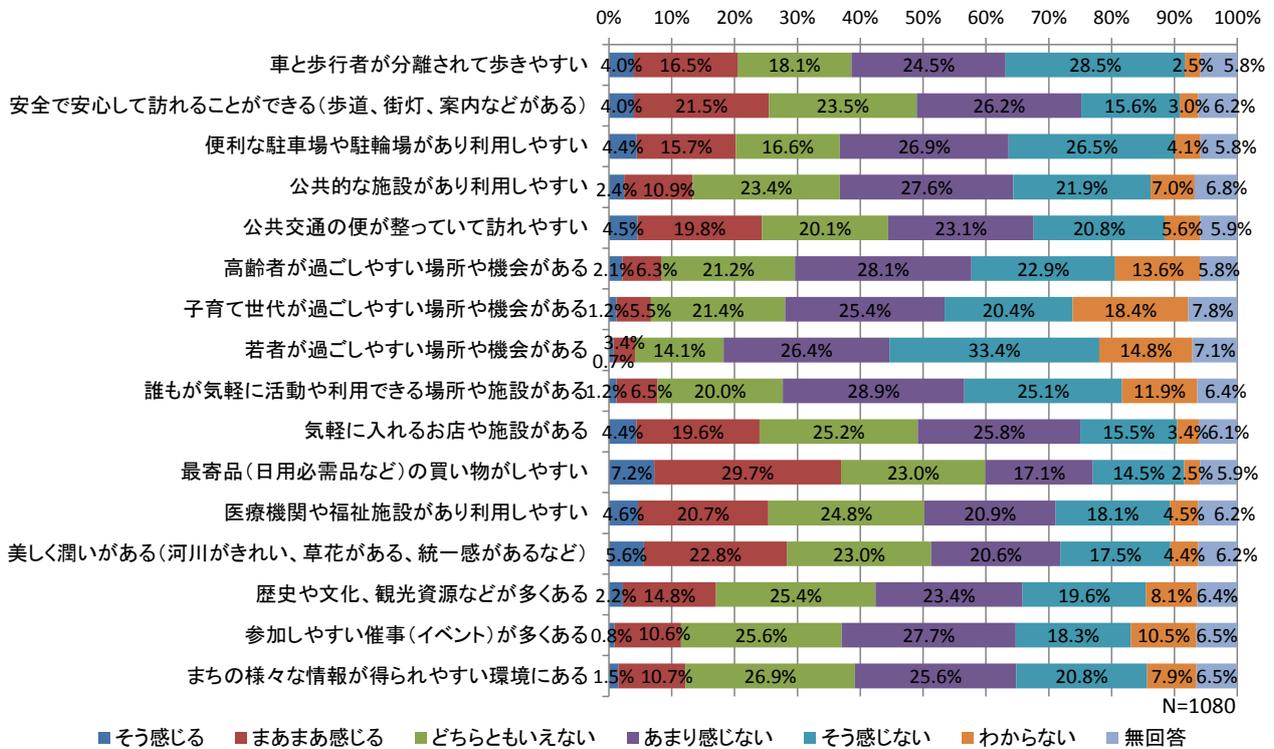


図 1 7 現在の中心市街地について感じる事

⑱ 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

- 「駐車場の整備」が46.6%で最も多く、次いで「魅力ある立ち寄り施設」が36.5%、「歩行者が安心して歩ける空間の整備」が32.7%であった。
- 駐車場や施設などのハード面の整備が20%を超えている。
- ソフト面では、「公共交通機関の利便性の向上」(23.4%)や「イベントの開催」(15.0%)などと続いた。
- 「その他」としては、「商店街の活性化」や「魅力的なお店を開設」、「大型ショッピングモールの誘致」、「イスやベンチなど休憩できる場所をつくる」などが挙げられた。

(複数回答)

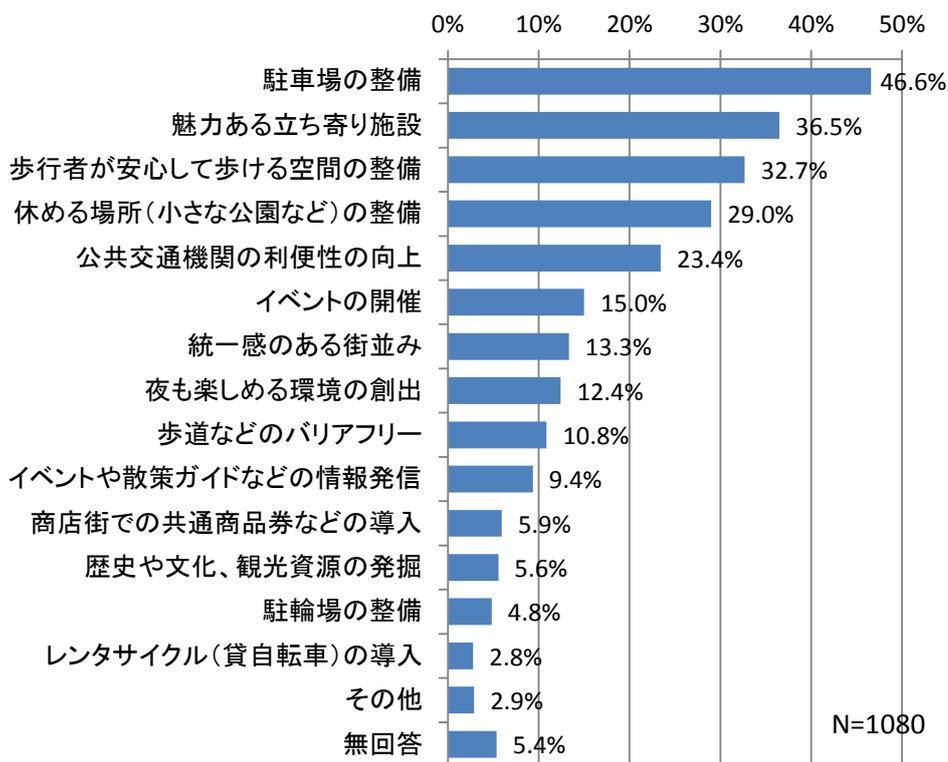


図 1 8 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

⑱現庁舎（本庁舎・分庁舎）の跡地活用

<本庁舎>

○本庁舎の跡地活用については、「誰でも、いつでも憩える公園や広場」の「期待する」(26.6%) 「やや期待する」(27.8%)の合計が 54.4%で最も多く、次いで、「観光案内などの情報提供や物産販売などができる場」が「期待する」(19.8%) 「やや期待する」(32.6%)で合計で 52.4%であった。

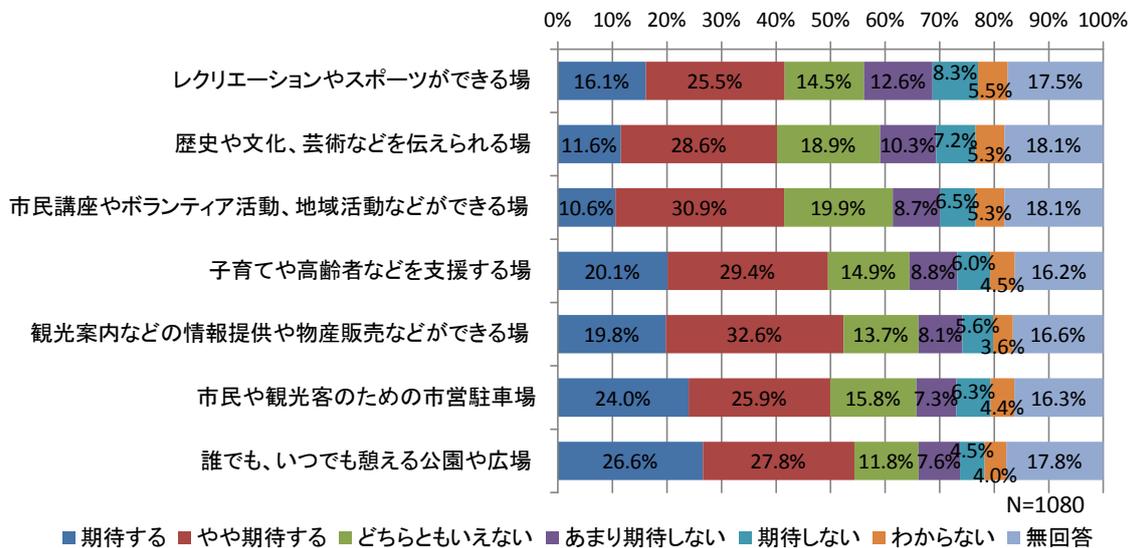
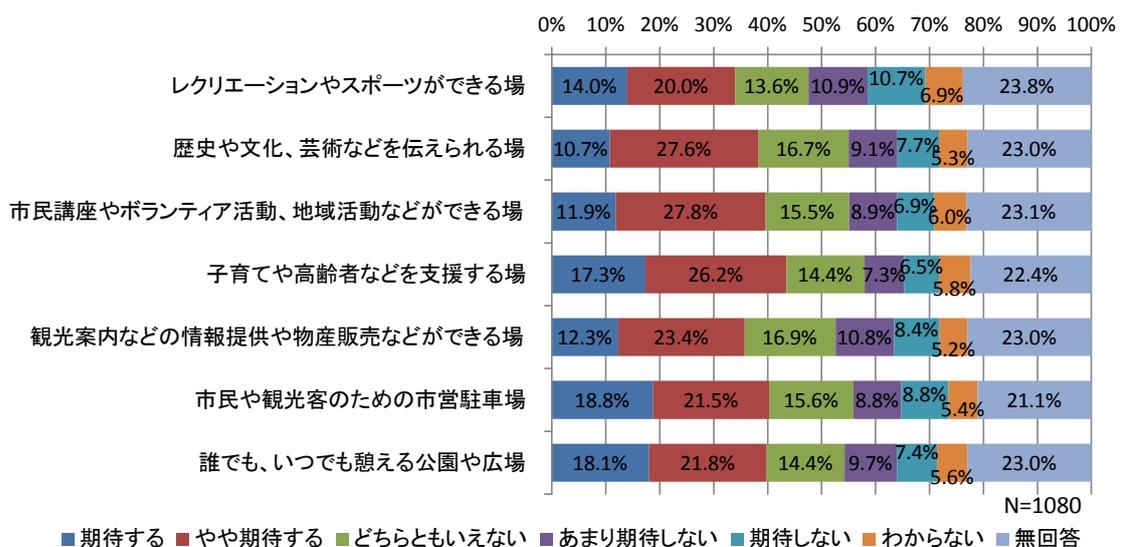


図 19 本庁舎の跡地活用

<分庁舎>

○分庁舎の跡地活用については、「子育てや高齢者などを支援する場」の「期待する」(17.3%) 「やや期待する」(26.2%)の合計が 43.5%で最も多く、次いで、「市民や観光客のための市営駐車場」が「期待する」(18.8%) 「やや期待する」(21.5%)が 40.3%であった。



②「新施設」の整備についての意見・提案

- 「計画の慎重な検討を望む」が 13.9%で最も多く、内容としては「建設費用がかかりすぎないように吟味してほしい」や「他にも必要な施設がある中で建設する意味はあるのか」など厳しい意見も寄せられた。
- 同数で、「駐車スペースを充実させてほしい」(12.0%)、続いて「渋滞対策などを考えて道路も整備してほしい」(9.4%)が多かった。駐車スペースを求める理由としては、「現在の市庁舎の駐車場が狭く利用しづらい」という理由が目立った。
- 「その他」としては、「もっと多くの市民から意見を募るべきだった」、「中心部以外（田老、新里、川井）の整備をしてほしい」などの意見や提案があった。

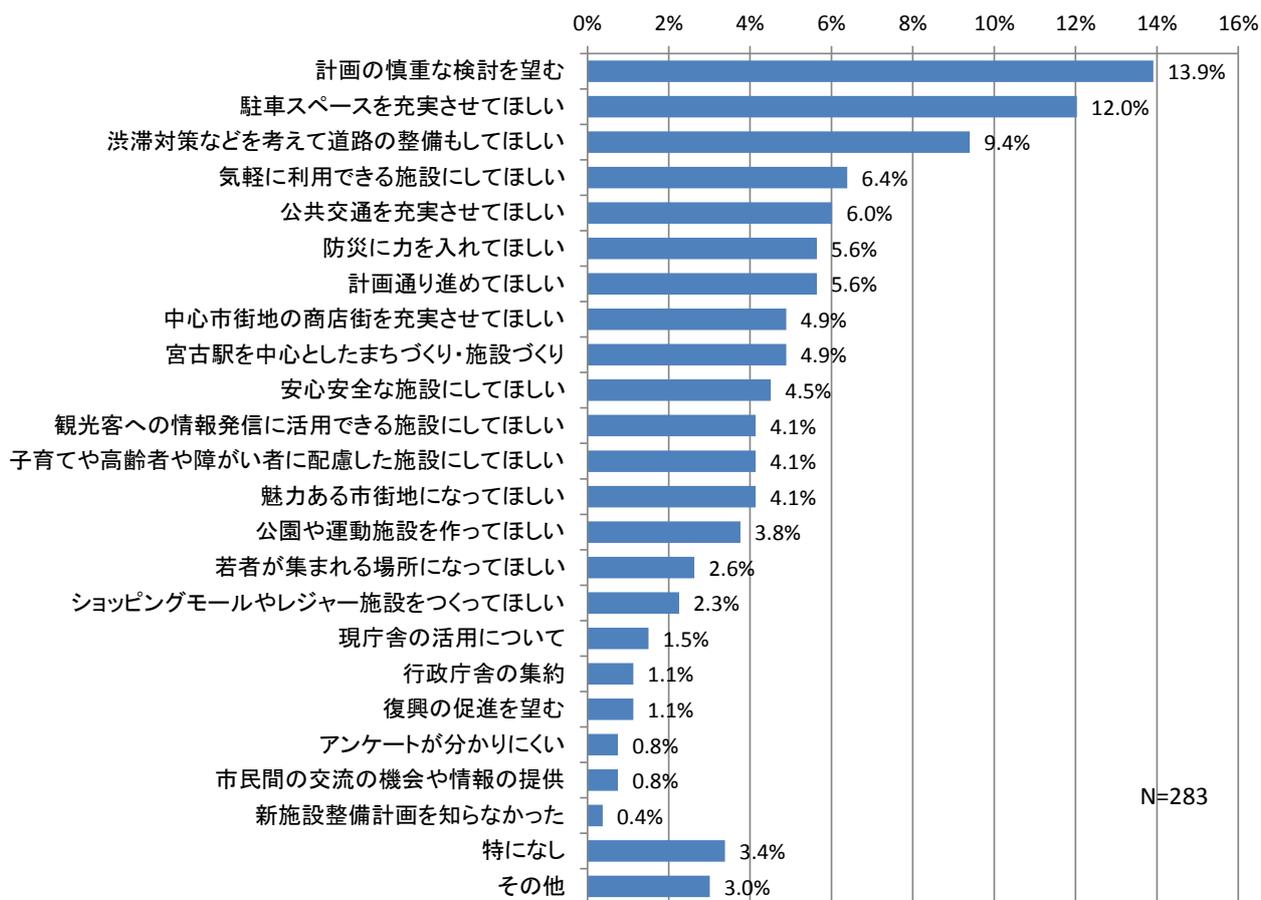


図 2 1 「新施設」の整備についての意見・提案

3. 資料編

1) 市民アンケート調査票

中心市街地拠点施設整備事業 ～アンケート調査のお願い～

日頃から、市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、現在抱えているさまざまな課題を解決するため、宮古駅南側で次の施設（①、②、③）を集約した「災害時に市民を守るための役割を最大限発揮する施設」（地域防災拠点施設＝「新施設」）の整備を計画しています。

地域防災
拠点施設
「新施設」
として、お
聞きします

①防災・地域活力創出拠点施設～集い、学び、語らい、賑わう～
＊本アンケートでは「市民交流センター(仮称)」としてお聞きします。

②市本庁舎 ～安全・安心な暮らしを支える～

③保健センター ～健康なまちづくりを支える～

本年度、建物の設計を進めるにあたり、「アンケート調査」を実施し、市民の皆様のご意見をお聞きすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた調査票は、7月8日(水)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。

平成27年6月

宮古市長 山本正徳

〔ご記入にあたってのお願い〕

あて名の、ご本人がご記入ください

1. この調査では、市内にお住まいの18歳以上の市民3,000名の方を無作為に選ばせていただきました。
2. 本事業の「基本計画(概要版)」の資料を添付していますので、ご覧ください。
3. 調査は、無記名で行い、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることは一切ありません。
4. 調査結果は、この調査の目的以外で使用されることはありません。
5. 調査にご協力いただいた市民の皆様への情報提供の観点から、集計結果を市ホームページや市広報等で公開するとともに、必要に応じて印刷物を作成します。
6. この調査は、(株)ケー・シー・エスへ委託し、発送や集計などの業務を実施しています。

お問い合わせ

〔調査主体〕宮古市企画部復興推進課 市街地施設推進室（本庁舎4階）

TEL：(0193) 68-9089、FAX：(0193) 63-9114

〔協力機関〕株式会社ケー・シー・エス 三陸事務所

回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。

問1. あなた自身のことについてお伺いします。

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
	7. 70歳以上		
お住まい	1. 宮古地区	2. 崎山地区	3. 津軽石地区
	4. 重茂地区	5. 花輪地区	6. 田老地区
	7. 新里地区	8. 川井地区	
ご職業	1. 農林漁業	2. 自営業	3. 会社員
	4. 公務員・団体職員	5. パート・アルバイト	6. 家事専業
	7. 学生	8. 無職	

問2. 市役所の利用状況についてお伺いします。

【問2-1】あなたが日頃、市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所、保健センター）を利用するときの用件は何ですか。（複数回答可）

1. 証明（戸籍、住民票、印鑑登録など）	2. 異動（転居、転入出、婚姻や出生など）
3. 健康保険、年金	4. 税金
5. 介護、高齢、障がいサービス	6. 子どもの保育（保育所、児童手当など）
7. 家族の健康（健診、予防接種、相談など）	8. 教育（学校、教育相談など）
9. 市営住宅（災害公営住宅）	10. 建築確認、道路、都市計画
11. 環境対策、廃棄物	12. 住民相談（法律相談など）
13. 自治会や地域活動	14. 商工・観光・農林水産業（仕事など）
15. 議会や会議の傍聴	16. 展示物の観覧、配布物の受取
17. 金融機関（キャッシュコーナーなど）	18. 売店、食堂
19. その他（ ）	

【問2-2】あなたは、どのくらい市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所、保健センター）を利用しますか。（1つに○）

1. ほぼ毎日	2. 週に2、3回程度
3. 週に1回程度	4. 月に1、2回程度
5. 年に数回程度	6. 年1回程度
7. 数年に1回程度	8. ほとんど行かない

【問2-3】市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所、保健センター）を訪れたときの滞在時間はおおむねどのくらいですか。

（滞在時間が訪問先によって異なる場合は、平均的な時間をお答えください。）

1. 15分未満 2. 15～30分 3. 30分～1時間 4. 1時間以上

問3. 宮古駅南側の「新施設(地域防災拠点施設)」の整備についてお伺いします。

【問3-1】現在、宮古駅の南側に「新施設」を整備する計画を進めています。あなたは、この計画をご存じでしたか。（1つに〇）

1. 計画と主な整備内容について知っている
2. 計画は知っていた（聞いていた）が、主な整備内容までは知らない
3. このアンケートの添付資料を見るまで知らなかった ⇒問3-3へ

【問3-2】この計画をご存じの方にお伺いします。

あなたは、この計画をどのような方法で知りましたか。（複数回答可）

1. 市の広報 2. 市のホームページ、フェイスブック
3. 市民説明会、出前説明会 4. 市の施設の配架、配布物
5. 新聞、エフエムなどの報道 6. クチコミ（人から聞いて）
7. 市議会の広報、市政報告など 8. その他（ ）

→【問3-3】あなたは、この計画についてどの程度関心を持っていますか （1つに〇）

1. とても関心がある 2. 関心がある 3. あまり関心がない
4. 関心がない 5. どちらともいえない 6. わからない

【問3-4】あなたは、現在どのような交通手段で「本庁舎」を訪れますか。

（主な手段を1つ選択）

1. 自動車（自分で運転） 2. 自動車（家族等の送迎） 3. タクシー
4. 路線バス 5. 鉄道（JR・三陸鉄道） 6. オートバイ
7. 自転車 8. 徒歩

【問3-5】宮古駅南側に「新施設」が整備された場合、あなたは、どのような交通手段で訪れますか、あるいは訪れたいと考えますか。（主な手段を1つ選択）

1. 自動車（自分で運転） 2. 自動車（家族等の送迎） 3. タクシー
4. 路線バス 5. 鉄道（JR・三陸鉄道） 6. オートバイ
7. 自転車 8. 徒歩

問4.「市民交流センター(仮称)」についてお伺いします。
(諸室のイメージは、次のページを参照してください。)

【問4-1】あなたは、日頃、地域の人たちや気の合った仲間と、グループ・クラブ・サークル
 各種団体・自治会・町内会などの活動に参加していますか。(1つに〇)

1. 参加している
 2. 参加していない

※「1. 参加している」と答えた方

具体的に、どのような活動に参加していますか。

(記入例:毎週、仲間と一緒に将棋や囲碁を楽しんでいる。時々子供たちに教えている。)

【問4-2】「市民交流センター」について、現在、次のページのような諸室の機能を検討
 しています。あなたは、「市民交流センター」が整備された場合、利用した
 い(行ってみたい)と思いますか。(1つに〇)

1. 利用したい(行きたい)
 2. どちらかという、利用してみたい(行ってみたい)
 3. どちらかという、利用しない(行かない)と思う
 4. 利用しない(行かない)
 5. わからない

※「1、2」を選択した方

【問4-3】あなたは、「市民交流センター」が整備された場合、どの諸室を利用したい
 (行ってみたい)と思いますか。(複数回答可)

諸室のイメージや 活用例は 次のページを ご覧ください	防災展示学習 (体験)室	多目的ホール	視聴覚(OA)室	音楽スタジオ	軽運動スタジオ	オープンスペース	情報提供コーナー	子どもふれあいコーナー	ふれあいカフェ	和室	創作活動室	貸室 (研修会議室)
【記入例】		○					○			○		
利用したい (行ってみたい)室												

「市民交流センター（仮称）」のイメージ
 ～市民活動・交流機能・災害伝承機能に関する諸室の例～



防災展示学習（体験）室
 （災害記録展示、防災体験など）



多目的ホール
 （発表会、講演会、総会など）



視聴覚（OA）室
 （講習・研修会、説明会など）



音楽スタジオ
 （器楽・合唱練習、録音など）



軽運動スタジオ
 （ダンス、舞踏、健康運動など）



オープンスペース
 （憩い、交流、学習、待合など）



情報提供コーナー
 （各種情報、図書や資料閲覧）



子どもふれあいコーナー
 （親子などの交流体験、育み）



ふれあいカフェ
 （軽飲食、小会合、交流など）



和室
 （教室、会議、着付など）



創作活動室
 （教室、体験、展示など）



貸室（研修会議室）
 （研修・会議、グループ・団体活動など）

【問4-4】「市民交流センター」（イメージ）の諸室（機能）のほか、あなたが利用したいと思う室（コーナー）があればご記入ください。

※「市民交流センター」が整備された場合のことについて、お伺いします。

【問4-5】あなたは、「市民交流センター」の運営について、利便性を高めるためには、特に、どのようなことに配慮することが必要だと思いますか。（3つまで○）

1. 親しみやすく、気軽に立ち寄ることができること
 2. 制約なく、誰もが気軽に使えること
 3. 利用料金が安いこと
 4. 利用の手続きがしやすいこと
 5. 地域活動や行政情報などが手軽に入手できること
 6. 地域のことを気軽に相談できる窓口があること
 7. 魅力的な講座・教室やイベントが豊富にあること
 8. 土曜日や日曜日、祝祭日、夜間でも利用できること
 9. 軽い飲食や休憩ができること
 10. その他（）
 11. わからない、思いつかない

【問4-6】あなたは、「市民交流センター」を、どのように利用したいと考えますか。
（複数回答可）

1. グループや団体の会議や会合などで利用
 2. 気軽に立ち寄って、地域の人などと交流
 3. 気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす
 4. 趣味のサークル活動などで利用
 5. 子どもを遊ばせたり、親同士で交流
 6. 施設が主催する行事やイベントに参加
 7. 多くの人に参加しやすい行事などを行う
 8. 趣味や教養に関する教室や講座に参加
 9. 有償の教室や講座を開く
 10. NPO法人などの活動拠点として利用する
 11. その他（）
 12. わからない、思いつかない

問5.「新施設(地域防災拠点施設)」を中心とした中心市街地についてお伺いします。
 (このアンケートでの「中心市街地」の範囲は、下図をご覧ください。)

【問5-1】あなたが、宮古市の中心市街地に出かける主な目的は何ですか。(3つまで○)

1. 最寄品(日用必需品等)の買い物
2. 買回り品(装身具、ハンドバッグ等)の買い物
3. 飲食(外食)のため
4. 遊び・娯楽のため
5. ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため
6. 友人・知人に会いに行くため
7. イベント、祭りなどの催し物の見物のため
8. 趣味や習い事のため
9. 公共機関への用事
10. 通勤・通学のため
11. 通院のため
12. あまり出かけない
13. その他

(具体的に：

)

[]



地図データ：地理院地図(電子国土WEB)を使用しています。

【問5-2】あなたは、宮古市の中心市街地について、どのように感じていますか。

(記入例を参考に選択)

項 目	そう感じる	まあまあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	そう感じない	わからない
【記入例】〇〇〇〇〇があり便利である	1	②	3	4	5	6
1. 車と歩行者が分離されて歩きやすい	1	2	3	4	5	6
2. 安全で安心して訪れることができる (歩道、街灯、まちなかの案内などがある)	1	2	3	4	5	6
3. 便利な駐車場や駐輪場があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
4. 公共的な施設があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
5. 公共交通(鉄道、バスなど)の便が整っていて訪れやすい	1	2	3	4	5	6
6. 高齢者が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
7. 子育て世代が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
8. 若者が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
9. 誰もが気軽に活動や利用できる場所や施設がある	1	2	3	4	5	6
10. 気軽に入れるお店や施設がある	1	2	3	4	5	6
11. 最寄品(日用必需品など)の買い物がしやすい	1	2	3	4	5	6
12. 医療機関や福祉施設があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
13. 美しく潤いがある(河川がきれい、草花がある 統一感がある、など)	1	2	3	4	5	6
14. 歴史や文化、観光資源などが多くある	1	2	3	4	5	6
15. 参加しやすい催事(イベント)が多くある	1	2	3	4	5	6
16. まちの様々な情報が得られやすい環境にある	1	2	3	4	5	6

【問5-3】あなたは、日頃、中心市街地へは、どの程度の頻度で訪れますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～2回 |
| 3. 月に1～2回 | 4. 2～3ヶ月に1回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんど行かない |

【問5-4】あなたが、宮古市の中心市街地に出かけてみたくなる（歩いてみたくなる）仕掛けとして、特に何が必要だと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 公共交通機関の利便性の向上 | 2. 駐車場の整備 |
| 3. 歩行者が安心して歩ける空間の整備 | 4. 歩道などのバリアフリー |
| 5. 駐輪場の整備 | 6. レンタサイクル（貸自転車）の導入 |
| 7. 休める場所（小さな公園など）の整備 | 8. 統一感のある街並み |
| 9. イベントや散策ガイドなどの情報発信 | 10. イベントの開催 |
| 11. 商店街での共通商品券などの導入 | 12. 魅力ある立ち寄り施設 |
| 13. 歴史や文化、観光資源の発掘 | 14. 夜も楽しめる環境の創出 |
| 15. その他 | |
| { | } |

問6. 現在の市の「本庁舎」、「分庁舎」の跡地についてお伺いします。

※「新施設（地域防災拠点施設）」を整備した後に、「本庁舎」、「分庁舎」の用地を活用するとした場合のことについて、お伺いします。（「庁舎の現状、課題と方向性」については、次のページをご覧ください。）

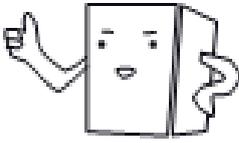
【問6-1】「本庁舎」、「分庁舎」の用地の活用のあり方として、どのような期待をお持ちですか。（記入例を参考に選択）

項目（活用の例）		期待する	やや期待する	どちらともいえない	あまり期待しない	期待しない	わからない
【記入例】〇〇〇〇〇ができる場		1	2	3	4	5	6
本 庁 舎	1. レクリエーションやスポーツができる場	1	2	3	4	5	6
	2. 歴史や文化、芸術などを伝えられる場	1	2	3	4	5	6
	3. 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場	1	2	3	4	5	6
	4. 子育てや高齢者などを支援する場	1	2	3	4	5	6
	5. 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場	1	2	3	4	5	6
	6. 市民や観光客のための市営駐車場	1	2	3	4	5	6
	7. 誰でも、いつでも憩える公園や広場	1	2	3	4	5	6
	8. わからない	1	2	3	4	5	6
	9. その他（具体的に記入ください）						

分 庁 舎	1. レクリエーションやスポーツができる場	1	2	3	4	5	6
	2. 歴史や文化、芸術などを伝えられる場	1	2	3	4	5	6
	3. 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場	1	2	3	4	5	6
	4. 子育てや高齢者などを支援する場	1	2	3	4	5	6
	5. 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場	1	2	3	4	5	6
	6. 市民や観光客のための市営駐車場	1	2	3	4	5	6
	7. 誰でも、いつでも憩える公園や広場	1	2	3	4	5	6
	8. わからない	1	2	3	4	5	6
	9. その他（具体的に記入してください）						

■本庁舎の耐震性能の現状

本庁舎は、昭和47年に竣工してから43年が経過しました。平成21年に実施した耐震診断の結果、**IS値=0.21（最低値）**と判定され、大規模な地震（震度6強程度）で倒壊の危険性が高く、安全面や防災拠点を担う上で問題があります。

耐震性能 IS値	IS>0.6	0.3≤IS<0.6	IS<0.3 (本庁舎=0.21)
地震に対しての倒壊などの危険性	 危険性が低い	 危険性がある	 危険性が高い
	低		高



※ IS値

構造耐震指標。建物の耐震性能を表す指標です。
地震力に対する建物の強度と靱性（変形能力、粘り強さ）が大きいほど指標が大きくなり、すなわち、耐震性能が高くなります。

■今後の課題と方向性

市では、「本庁舎」や「分庁舎」の用地について、宮古駅南側の新施設とを結び、新たな拠点として整備を検討します。「まちづくり市民会議」「市民検討委員会」や本アンケート調査の結果を反映しながら、平成27年度内に方向性をまとめる予定です。

「本庁舎」は、耐震性能の問題から、利用を継続するためには耐震補強が必要です。耐震補強は、多額の費用を要するうえ、耐用年数も延伸されないことから、新庁舎整備後は、解体することを前提に検討しています。

なお、耐震補強工事に伴って、現行法令に準拠するためのサッシ改修など、関連工事が必要となりますが、平成22年度時点では、耐震補強工事と合わせて約15億円の改修費になると試算しています。

また、「分庁舎」は、建築から53年が経過し、配管の老朽化や外壁などの剥落も見られますので、新庁舎整備後は、解体することを前提に検討しています。

問7.「新施設(地域防災拠点施設)」の整備について、ご意見やご提案をお聞かせください。

* 該当する項目に、○をお願いします。

- | | | |
|----------|-----------------|--------|
| 1. 事業全体 | 2. 市民交流センター(仮称) | |
| 3. 中心市街地 | 4. 市庁舎跡地の利活用 | 5. その他 |

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

7月8日(水)までに、ポストへご投函ください。

